

Suiden

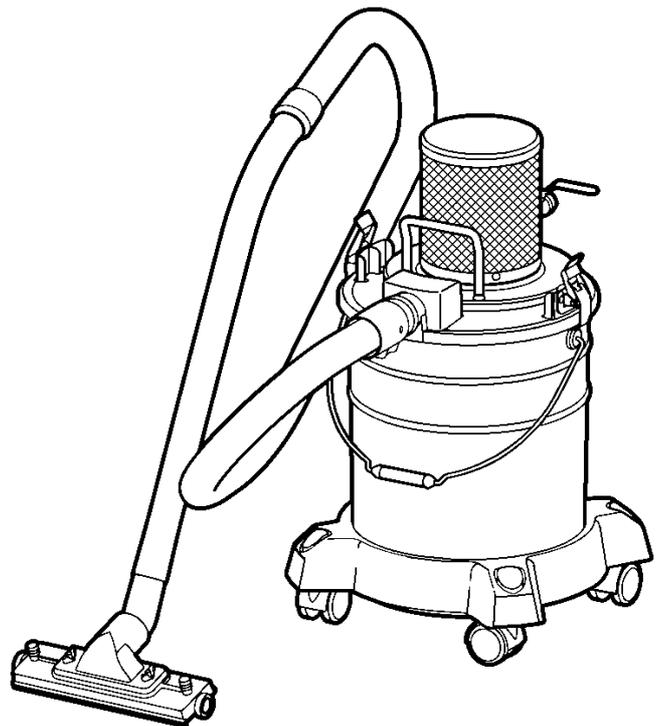
エアークリーンバキュームクリーナー

エアークレクション

SAC-101

取扱説明書

吸引対象物	
一般ゴミ	○
微粉じん	×
水	○
油類	○



もくじ

1	安全のために必ずお守りください……	1
2	仕様……	3
3	各部の名称と付属品……	4
4	ご使用方法……	5
	1. エアークレクションの接続……	5
	2. ホースの接続と外し方……	5
	3. 吸引……	6
	4. フロート(オーバーフロー防止装置)……	7
	5. タンクの着脱方法……	7
	6. ポリ袋の利用……	7
	7. ゴミを捨てる……	7
5	お手入れ……	8
	1. フィルターのメンテナンス……	8
	2. オイルフィルターのメンテナンス……	9
	3. お手入れ……	9
6	こんなときは(故障かな?と思ったら)……	10
7	アフターサービスと保証について……	11

本取扱説明書は、必ず最後までお読みください。
必要ときに誰でもが読めるところへ、必ず保管してください。

世界のブランド〈Suiden スイデン〉製品をお買上げいただきまして、ありがとうございました。
ご使用前に、この説明書を最後までお読みのうえ正しくお使いください。お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してご活用ください。ご使用中にわからないことや、不具合が生じたときは、本説明書を必ずお読みください。

本機は防爆構造ではありません

1 安全のために必ずお守りください

ご使用前に、この『安全のために必ずお守りください』をよく読み内容を理解してから正しくお使いください。ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

また、注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の度合いを明らかにするために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、△警告・△注意の2つに区分しています。

しかし、△注意の欄に記載した内容でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。

いずれも安全に関する重要な内容ですので必ずお守りください。

△警告：取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性があります。

△注意：取扱いを誤った場合、傷害を負う可能性、物的損害が発生する可能性があります。

注記：警告・注意以外の情報を示します。

絵表示の例		△記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。 図の中に具体的な注意事項が描かれているものもあります。（左図は感電注意）
		⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 図の中や近くに具体的な禁止事項が描かれているものもあります。（左図は分解禁止）
		●記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を告げるものです。 図の中に具体的な注意事項が描かれているものもあります。（左図はアースする）

●搬入・移動上の注意事項

△ 注 意	
搬入・移動に際しては、重心・重量を考慮して作業する。 * 落下・破損などによりケガの原因になります。	人手により運搬や持ち上げる際は、腰だけがかがめず膝も曲げて持ち上げるようにする。 * 腰を痛める原因になります。

●使用の際の注意事項

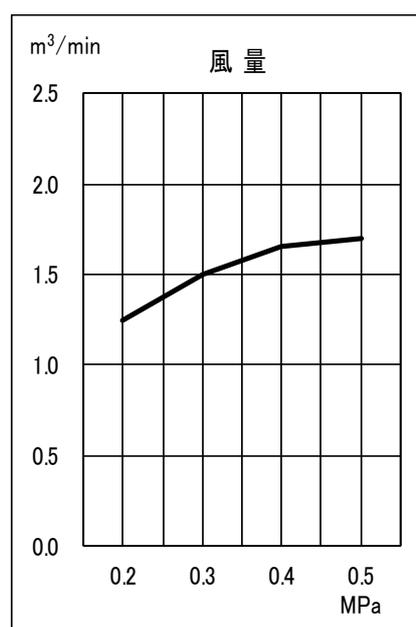
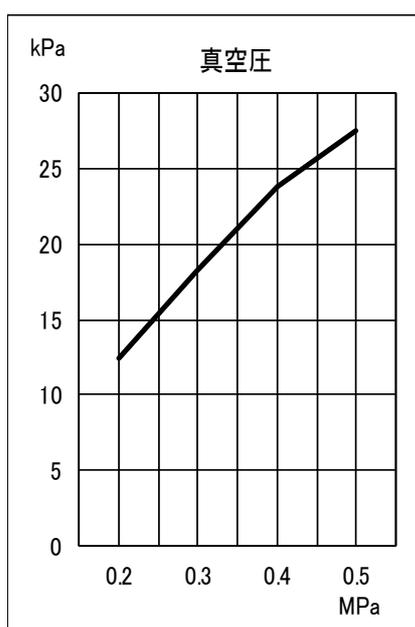
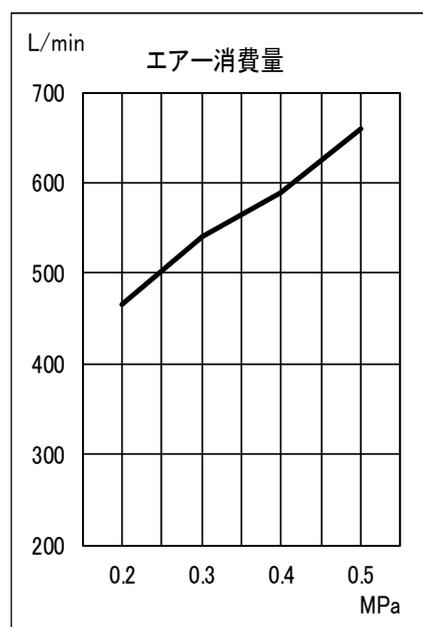
△ 警 告	
爆発性物質は吸引しない。 * 爆発の恐れがあります。	ダイオキシン類などの有害物質やアスベスト(石綿)類を含んだ粉じんなど、人体に有害なものを吸引しない。 * 環境汚染・健康障害につながる危険性があります。
グラインダー・溶接機などから発生する火花を含む粉じん、加工直後の高温の切粉、火のついたたばこの吸い殻など、高温のものを吸わせない。 * 爆発・火災の恐れがあります。	アルミニウム・マグネシウム・チタン・亜鉛・化学物質などの爆発性粉じんの近くや雰囲気内で使用しない。 * 爆発・火災の原因になります。

△ 注 意	
指定の時以外は、サイレンサーやフィルターを外した状態で使用しない。 * 吐出口から吸引物が噴出し、ケガの恐れがあります。	エアーホースは確実に接続し、固定する。 * 使用中に外れると、ケガの恐れがあります。
	吸込口に手や指を入れない。 * ケガの原因になります。

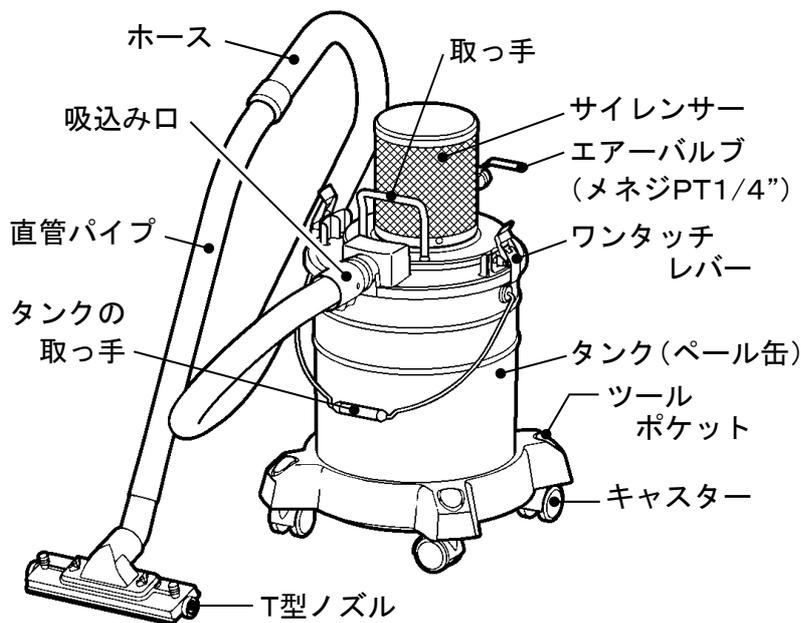
2 仕様

品番	SAC-101
供給エア圧力	0.5 MPa
エアバルブ	メネジ PT 1/4"
供給エアホースバルブ	PT 1/4"
供給エア消費量	660 L/min
最大真空圧	27.5 kPa
風量	1.7 m ³ /min
フィルター面積	0.15 m ²
タンク実容量	16 L (液体 13 L)
ホース	径φ38×長さ2m
本体寸法	幅352×奥行370×高さ618mm
標準質量	9.5 kg (本体のみ 7.7 kg)

注記 ①タンク実容量の()内数値は、液体のみ吸引した場合の容量です。
 ②標準質量には、使用するために必要な付属品(ホース、パイプ、ノズル)の質量を含みます。



3 各部の名称と付属品



付属品

- ①φ38 静電防止用アース入り
ホース組品 ロック付 2m 1本
- ②φ38 アルミ直管パイプ 1本
- ③φ38-25T型ノズルセット品 1組
※組立ててご使用ください。
- ④φ38 アルミスキマノズル 1個
- ⑤フィルター 2個
※本体に1個装着しています。

《フィルターの使い分けをお願いします》

水吸引後の湿ったフィルターで粉じんを吸引したり、粉じん吸引後すぐに同じフィルターで水を吸引しないでください。

フィルターは、湿式用(水吸引専用)と、乾式用(粉じん専用)とに使い分けをおすすめします。

本機を2台以上ご使用の場合は、吸引物別に使い分けていただくと、本機の性能をより効果的に発揮でき、フィルターの目詰まりも少なく、お手入れも簡単です。

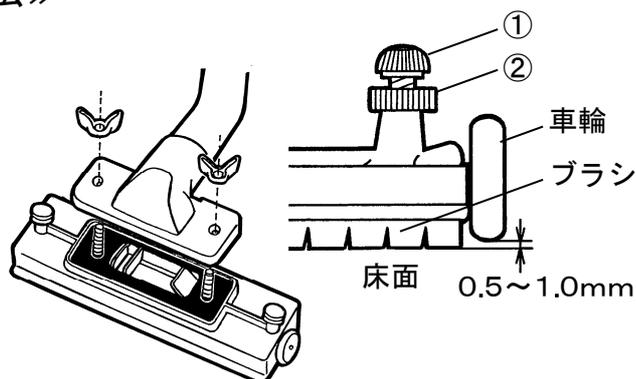
《φ38-25T型ノズルセット品の組立方法》

右図のように組立ててください。

ノズルの組立てが終わったら②のナットをゆるめて、①のネジで車輪がブラシより0.5~1.0mm高い位置になるように車輪の高さを調整してください。

最後にもう一度②のナットを締めなおします。

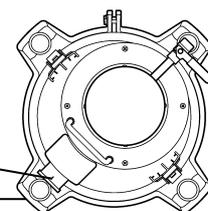
注記 床面とブラシの間隔が広すぎると吸引力の低下につながりますので、使用途中でもときどき調整してください。



ご使用の前に

出荷時は本体上部が右図の向きになっています。

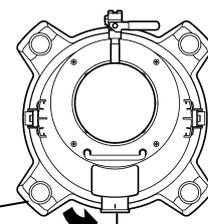
吸込み口
キャスター



真上から見た図

ワンタッチレバーを外して本体上部をタンクから一旦抜き、45度回転して再度装着してご使用ください。

キャスター



吸込み口

注記

他社製パール缶をご使用の場合は、金属製で、板厚が0.5mm以上のものをご使用ください。

樹脂製や、板厚が0.38mm以下のパール缶は、強力な吸引力により激しく変形しますので使用できません。

4 ご使用方法

安全にご使用いただくために、必ず「1安全のために必ずお守りください」の項を先にお読みください。

注記

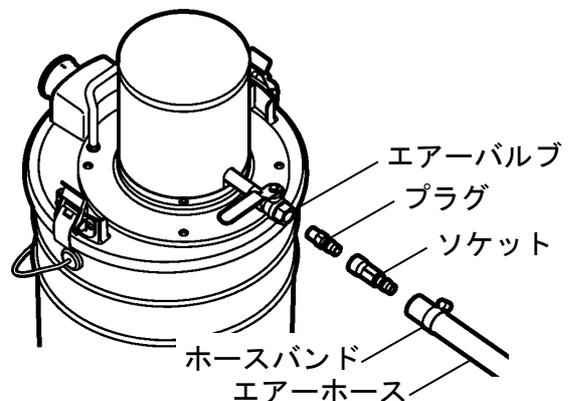
- 性能低下を未然に防ぐため、必ずエアースourceにエアフィルターを設けてください。
- コンプレッサーは、5馬力以上でご使用ください。
他の機器と併用する場合は、圧力低下にご注意ください。
- エア圧力は、0.5MPaでご使用ください。エア圧が高すぎると、タンク缶内の真空度が上がり、缶がつぶれる恐れがあります。
- エアースホースは、1/4"用をご使用ください。ホースが細すぎると、圧力が落ちて吸引力が低下します。
- エアース供給源から10m以上離れている場所で本機を使用する場合は、エアース供給源から本機間際までは4分のエアースホースを使用し、本機間際で1/4"のエアースホースに接続してご使用ください。

1. エアースホースの接続

用意していただくもの

- 1/4"エアースホース
- ホースバンド（使用ホースの外径に適合するもの）
- カプラー：プラグ（メネジ取付け用PT 1/4"対応品）
ソケット（1/4"ホース取付け用）

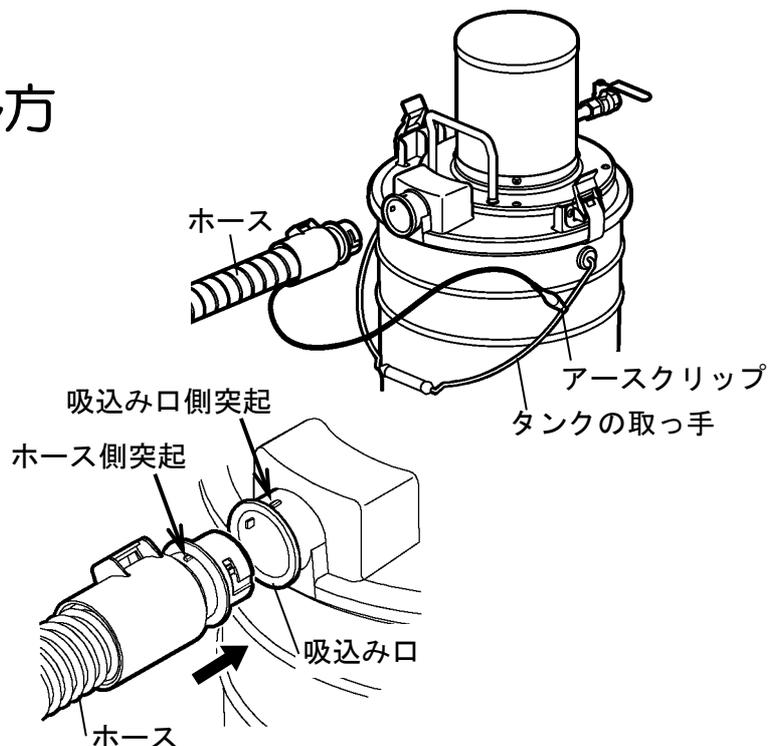
- ① プラグをエアースバルブにしっかりとねじ込みます。
- ② ソケットにエアースホースを差込み、ホースバンドでしっかりと締付けてください。
- ③ ソケットをプラグに差込むと、接続完了です。
※カプラーの代わりに、ホースコネクターを使用しても接続できます。（メネジ取付け用PT 1/4"対応品）



2. ホースの接続と外し方

《ホースの接続》

- ① アースクリップをタンクの取っ手に接続してください。
- ② ホース側の突起と本体吸込み口の突起の位置を合わせて差込み、ホースを右に止まる位置まで回して固定してください。
（ホースを軽く引いて固定されているか確認してください）

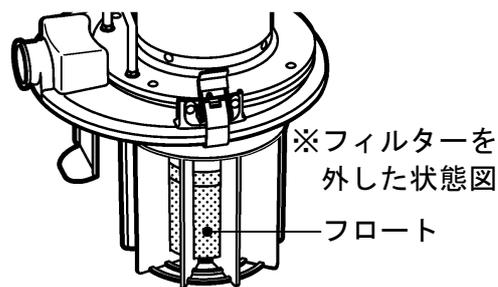


《ホースの外し方》

- ① 吸込み口側のホースの端を持ち、左に45度回してから引抜きます。
- ② アースクリップをタンクの取っ手から外してください。

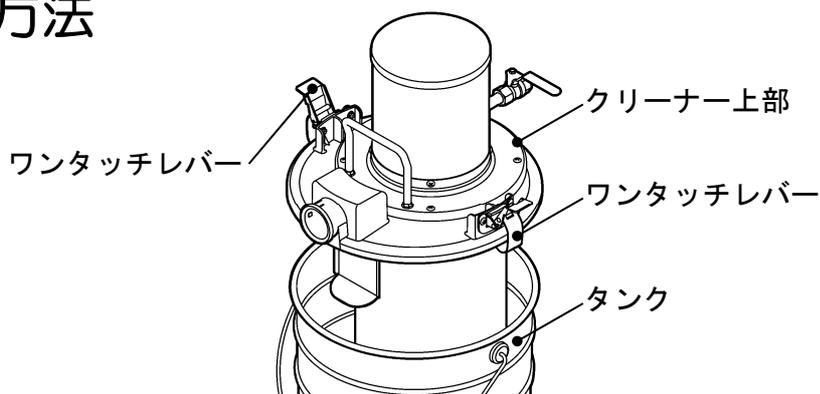
4. フロート（オーバーフロー防止装置）

- ① タンク内に一定以上の液体がたまると、オーバーフロー防止のために吸引を停止する装置です。
- ② 装置が働き、吸引が停止したら、エアバルブを閉じてからタンク内の液体を捨ててください。
- ③ フロートが上がっていると吸引運転ができないので、時々フロートを上下に動かして点検してください。



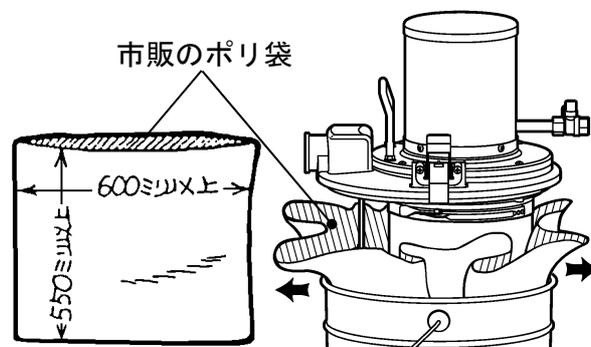
5. タンクの着脱方法

ワンタッチレバー(2か所)を開くと、クリーナー上部がタンクから外れます。



6. ポリ袋の利用

- ① 市販のポリ袋を、ダスト処理用ゴミ袋として使用できます。
- ② ポリ袋は、折径サイズで600×550mm以上の袋をご利用ください。
- ③ ポリ袋をタンクに折り返して本体との間に挟み込み、ワンタッチレバーで止めます。



7. ゴミを捨てる

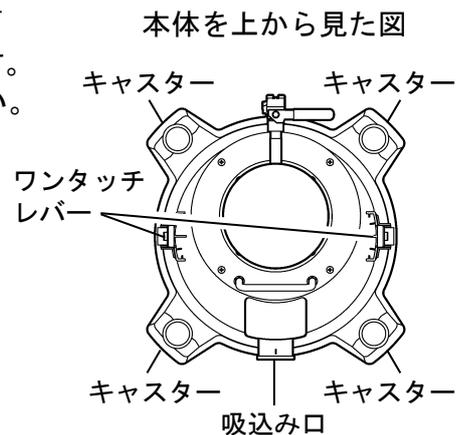
- ① 作業後は、タンク内のゴミを必ず捨ててください。
※タンク内にゴミを溜めたままにすると、ゴミがタンク内で固形化して付着したり、ゴミが腐敗して悪臭や細菌、錆びが発生することがあります。
- ② タンクを乱暴に扱うと、タンクが変形し、クリーナーに装着したときに真空度が低くなり、性能が著しく低下する場合があります。タンクを蹴飛ばしたり、投げたりしないでください。
- ③ ゴミを捨てる際は、タンク内のゴミで手を傷つけないように保護手袋をしてください。また、タンクを足の上に落としてケガをしないように安全靴の着用をお勧めします。
- ④ 産業廃棄物などは、条例等の規定に則り処理してください。

■タンクを外すとき

ワンタッチレバーを開けて、タンクからクリーナー上部を外します。
クリーナー上部を床に置くときは、静かにそっと置いてください。

■タンクを装着するとき

- ① 右図のように、吸込み口が、キャスターの間になる向きにして、クリーナー上部をタンクに装着します。
- ② ワンタッチレバーを閉じてクリーナー上部を固定します。
タンクとクリーナー上部がズレて隙間ができていると、空気がもれて適正な吸引力が得られませんのでご注意ください。



5 お手入れ

安全にご使用いただくために、必ず「1安全のために必ずお守りください」の項を先にお読みください。

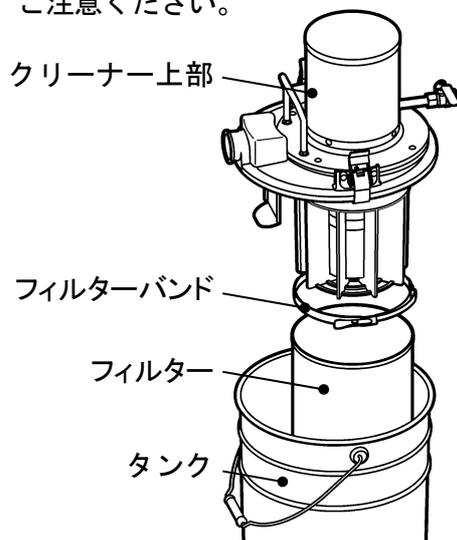
1. フィルターのメンテナンス

- ① 目詰まり防止のために、フィルター表面に特殊加工をしています。
- ② 長期間使用して吸引力が低下してきたときは、軽くはたくか、エアブローしてください。
決してフィルター表面を傷つけないようにご注意ください。

注記 フィルター表面を傷つけると、粉じんがフィルターを通過し、サイレンサーの内部に粉じんが附着して、吸引力低下の原因になります。

1 フィルターを取外す

フィルターバンドを紛失しないように
ご注意ください。



フィルターの目詰まりがひどい場合は、フィルターを取外してゴミを取除いた後、水またはぬるま湯などで洗ってください。

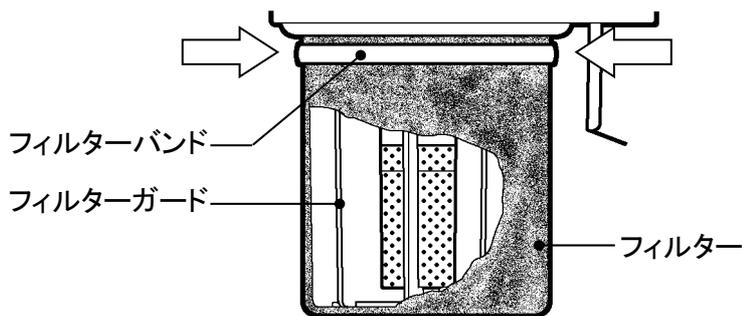
2 洗って乾かす

完全に乾くまで、陰干ししてください。



3 組立てる

フィルターは、フィルターカバーの右図の位置でフィルターバンドを締付けて、隙間のできないように装着してください。

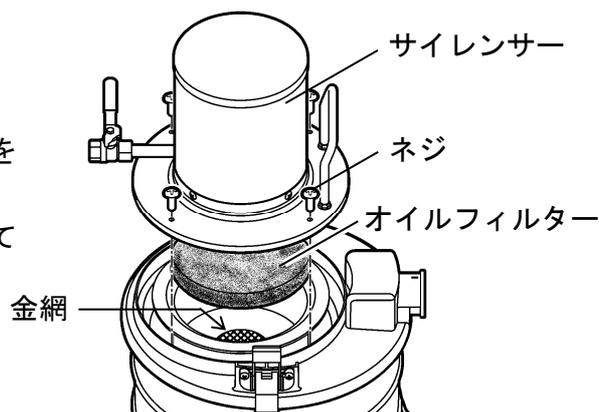


2. オイルフィルターのメンテナンス

排気空気にオイルが混じるのを防止するため、オイルフィルターを取付けています。主にオイルを吸引される場合は、オイル1,000L吸引を目安に、定期的に点検してください。点検の際は、フィルター下面に吸い上がったオイルをウエスなどで拭取って、フィルターに吸着しているオイルは洗い流してください。なお、洗浄後は、充分乾かしてから、クリーナーに装着してください。

《オイルフィルターの取出し方》

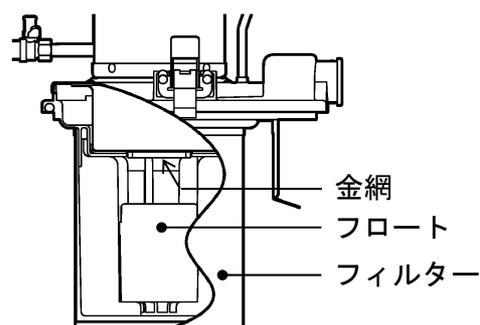
- ① エアーホースを外してください。
- ② サイレンサーの台を固定しているネジ(4か所)を外してください。
- ③ サイレンサーを外し、オイルフィルターを取出してください。



《金網のメンテナンス》

フロート上部に異物吸引防止のため、金網を取付けています。

金網に異物が付着していれば金網を掃除してください。



3. お手入れ

ホースやクリーナー外装が汚れたら、中性洗剤のうすめ液に浸したぞうきんやウエスを固く絞って拭いてください。

注記

- ① 石油、ベンジン、アルコール、シンナー類は、ご使用にならないでください。
- ② 本機の樹脂の材質には、主にPP樹脂を使用しています。作業雰囲気により、樹脂に悪影響を及ぼすことがありますので、本機に付着した汚れを放置しないよう、定期的にお手入れをしてください。

6 こんなときは（故障かな？と思ったら）

異常が発生したときは、ご使用を停止し、下記の点検をしてください。

症 状	調べるところ	直し方
<ul style="list-style-type: none"> ●吸引しない。 ●発生音が高くなった。 	コンプレッサーは動いていますか？	コンプレッサーを作動させてください。
	ゴミがタンク一杯になっていませんか？	タンク内のゴミを処理してください。
	ホースや吸込口にゴミが詰まっていますか？	ゴミを取除いてください。
	フィルターが目詰まりしていませんか？	①フィルターを外して、エアブローなどで掃除してください。 ②吸引力が回復しないときは、フィルターを交換してください。
	金網に異物が付着していませんか？	金網に付着した異物を取除いてください。
<ul style="list-style-type: none"> ●吸引力が急に弱くなった。 	エアホースは指定の口径のものを使用していますか？	指定口径(1/4")のホースに付替えてください。
	ホースや吸込口にゴミが詰まっていますか？	ゴミを取除いてください。
	ホースやパイプが破れていませんか？	ホースやパイプを交換してください。
	クリーナー上部とタンクは完全に密閉していますか？ 隙間ができていませんか？	クリーナー上部とタンクを正しく合わせて、クランプで確実に固定してください。
	フィルターが目詰まりしていませんか？	①フィルターを外して、エアブローなどで掃除してください。 ②吸引力が回復しないときは、フィルターを交換してください。
	エア圧は0.5MPaありますか？	エア圧0.5MPaでご使用ください。
	タンクからエアが漏れていませんか？	タンクの交換が必要です。

上記処置をしても症状が改善されない場合は使用を中止し、販売店に点検・修理をご依頼ください。

吸引力低下の原因になりますので、サイレンサー内の部品は触らないでください。

7 アフターサービスと保証について

⚠ 注意



当社製品の補修・修理には、当社純正部品を使用する。

- * 当社純正部品以外を補修部品として使用すると、特性が合わず、故障や事故の原因になります。
- * 当社純正部品以外を使用した場合のクレームおよび修理のご依頼などは、お受けできないばかりでなく、すべての保証の対象から外れる場合があります。
- * 他メーカー製品に当社部品を使用した場合も同様とします。

●修理について

補修用パーツの発注および修理などのお問い合わせは、品番、製造番号、ご購入日をご確認のうえ、お買い上げの販売店、または最寄りの当社支店・営業所にお申し付けください。なお、スイデン製品は、家電製品に準じた保有期間を独自設定しています。標準部品としての補修用パーツの保有期間は、製造打ち切り後6年です。

●保証について

この製品の保証期間は納入日より1年間とし、次の場合に限り無償修理の対象となります。

無償保証

取扱説明書に沿った保守点検を実施したにもかかわらず、保証期間内に当社の設計・組立の不備により、故障または破損が発生した場合。（日本国内でご使用の場合に限ります。）
ただし、故障または破損に起因する種々の出費およびその他の損害に関する保証はいたしかねます。また、無償修理時、故障原因に関係なく消耗し、交換が必要だと判断した部品については、有償とさせていただきます。

⚠ 安全に関するご注意

- 本製品を、食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途については、確認のうえ使用してください。品質低下などの原因になることがあります。
- 本体には、据え付けおよび電気工事などが必要な場合があります。お買い上げ販売店または専門業者にご相談ください。工事に不備があると、感電や火災・事故の原因になることがあります。

愛情点検



★長年ご使用のクリーナーの点検を！

このような症状はありませんか？

- スイッチを入れても時々運転しないことがある。
- 運転中に異常な音や振動がある。
- 本体が変形していたり、異常に熱い。
- 焦げ臭い“におい”がする。
- その他の異常がある。

お願い
異常があれば
ご使用を
即、中止!!

このような症状のときは、故障や事故防止のため、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

アフターサービスのお申し込みについて

アフターサービス・修理のお申し込みは、お買い上げの販売店または、お客様相談室へお申し込みください。

●お買い上げ販売店のメモ欄

店名	お買い上げ年月日 年 月 日
所在地	TEL
	FAX

≪製品の廃棄について≫ 本機を廃棄するときは、分解し、分別処理して廃棄物処理場に出してください。

スイデン商品についてのお問い合わせは、お買い上げの販売店または、お客様相談室へどうぞ！

お客様相談室 フリーダイヤル ☎ 0120-285-240

Eメールでのお問い合わせは info@suiden.com

株式会社 **スイデン** 〒543-0062 大阪市天王寺区逢阪 2-4-24 ホームページ <https://www.suiden.com>